

【学校教育目標】

『自立への芽を はぐくむ ～考えます、助けます、動きます、いっしょにチャレンジきょうわっ子～』



まようわっち

【在籍 133 名】 ①14 ②22 ③21 ④22 ⑤26 ⑥28

大仙市立協和小学校
学 校 報

2024. 7. 11

<No. 16>

【文責：校長】

稲の観察会がありました



7月1日（月）、5年生は5月に田植えを行った田んぼで苗の生長の様子を観察する学習を行いました。田植えを体験し、その稲の生長を観察することで、米をすることの大変さと大切さを知ることをねらいとしています。5年生のみなさんは、JAの方々の説明をしっかりと聞き、実際に稲が生長している様子を自分の目で見て、「わあ、かなり大きくなっている!」「苗の数が増えて、すごく太くなっている!」など、お米ができていく様子を具体的に深く学ぶことができました。

また、シイタケや野菜の栽培、ライスセンターの見学などを通して地元の農業について広く学習することもできました。さらにサプライズで、採れたて野菜のプレゼントもあり、笑顔がいっぱいになった子どもたちです。田植えが終了してからこの日まで、そしてこれからも稲の生長を見守ってくださる「たねっこ」の方々に感謝するとともに、秋に『きらり米』を収穫することが一層楽しみになりました。



どれくらい生長したのか、
長さを調べています。



シイタケ栽培についてお話
をしてくださった加藤さん



たねっこの施設を見学。すごい
機械がたくさんありました。



“社会を明るくする運動”は、すべての国民が、犯罪や非行の防止と、犯罪や非行をした人たちの更生についての理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪や非行のない安全で明るい地域社会を築くための全国的な運動です。協和地区のみなさんも毎月1日に修練坂付近であいさつ運動を展開してくださっています。今月は運動の強調月間ということで、子どもたちにクリアファイルをいただきました。

「住みよいくらし」をつくるには？



4年生が社会科のフィールドワークに出かけました。「大曲仙北広域中央ごみ処理センター」と「宇津台浄水場」の2カ所を見学し、住みよいくらしをつくるために、どのようにしてごみ进行处理しているのか、そして安全な飲料水がどのように作られ、私たちの家に届くのかについて学習しました。どちらの施設でも、案内して下さった方の話をしっかり聞き、真剣にメモを取る姿が素晴らしかったです。また、次々に手を挙げて質問をし、学習を深めている様子にも大変感心しました。この後、学んだことを新聞にまとめていく予定だそうです。完成が楽しみです。



荒天に負けず元気いっぱい過ごした2日間

7/9、10の二日間、5年生が『保呂羽山宿泊学習』に出かけました。天気が非常に心配されましたが、予定されていた全ての活動が無事出来ました。大自然の中で友達と一緒に過ごした経験は一生の思い出となりますね。

きりり学年のみなさんは、「話をしっかり聞いて素早く行動し、みんなで協力して、自分たちで活動を盛り上げていくことの大切さ」を学んできました。学校に戻ってきたみなさんの表情は、出発前よりもたくましく、自信にあふれているように見えました。この後、身につけた力を発揮し、6年生と協力して、協和小学校を盛り上げて行ってくれる姿を楽しみにしています。



ナイトハイクの提灯づくり。これがないと...



ベッドメイクの講習。できるかな？



PA。力を合わせて挑戦しています。



野外炊飯大成功！おいしそうですね。



「ぎゃ〜」悲鳴が聞こえてきそうです。



カヌーも楽しめました。大満足！！